

2024 年度
環境活動レポート
木々に永遠の生命をあたえたい



2025 年 4 月 26 日 発行

東京ボード工業株式会社 埼玉営業所

(実施期間 2024 年 4 月～2025 年 3 月)



1. 会社概要

1-1 全社組織

- ・資本金:2億2,100万円 ・従業員:273名(2025年3月31日現在)
- ・売上額:71億3,500万円(2024年3月31日現在)
- ・東京証券取引所スタンダード市場
- ・事業内容:パーティクルボード及び合板の開発・製造・販売



構造用パーティクルボード「壁武者」は木質廃材を原料としたマテリアルリサイクル製品です。
ご使用いただく事で、資源循環による環境改善にお取り組み頂けます。

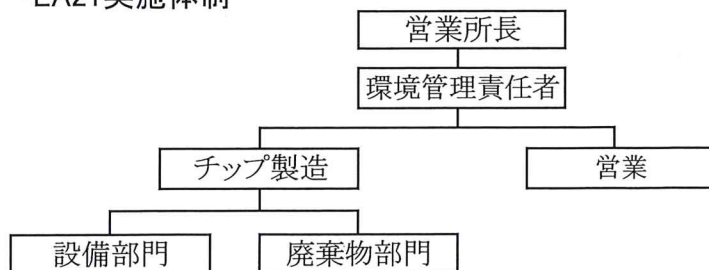
1-2 埼玉営業所

- ・事業所名:リサイクル部埼玉営業所 ・設立:1993年12月10日
- ・所在地:〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚100番地
- ・代表者:西尾 亮 ・従業員数:15名(2025年3月31日現在)
- ・事業内容:産業廃棄物(木くず)の中間処理、
及び産業廃棄物広域処理のストックポイント
- ・売上額:3億6,000万円(2025年3月31日現在) ・床面積:5,079㎡
- ・受託した産業廃棄物の処理実績 2024年度実績(木くず)29,633t
- ・認証範囲:埼玉営業所のサイト認証
- ・環境管理責任者兼連絡先:飛渡

電話:048-996-4541 FAX:048-996-4562

FAX:048-996-4562

・EA21実施体制

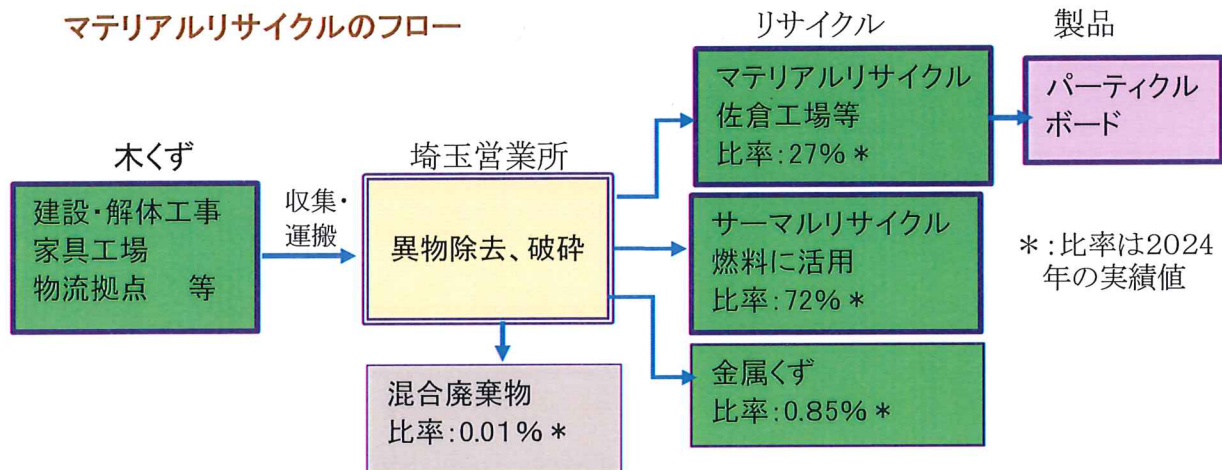


2. 埼玉営業所の取組

2-1 リサイクルの取組

木は地球温暖化防止、生物種の多様性確保、資源の有効活用の観点から、重要な資源となっています。我が社では「リサイクリングで地球環境の未来を創る」という理念のもとで、我が社の他の工場と連携して木材のマテリアルリサイクルに取り組んでいます。

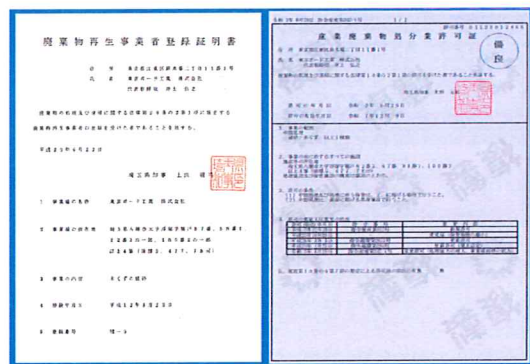
マテリアルリサイクルのフロー



木くずの処理後の廃棄物は混合廃棄物(0.001%)とごくわずかであり、廃棄物の**ゼロエミッション**を達成しています。

2-2 適正処理の取組

廃棄物である木くずをリサイクル処理をしているので廃棄物処理法に基づく「廃棄物再生事業者」の認定を受けています。また、同法に基づいて「優良認定制度(○)」の認定も受けています。



2-3 具体的な取組

- ① 廃棄物処理法と環境関連法規を遵守しています。特に、マニフェストのファイリングシステムを確立し、廃棄物の流れの管理を行っています。また、電子マニフェストシステムにも対応しています。
- ② 台貫設備を設置して木くず、木材チップの搬出入量を正確に把握して管理しています。
- ③ BCP(Business Continuity Plan)を策定して不測の事態に対応しています。
- ④ 環境負荷を体系的、継続的に削減するためにエコアクション21の認証・登録をしており、毎年適合していることの審査を受けています。また、地球温暖化対策に取り組んでいます。
- ⑤ 埼玉県SDGsパートナーシップに登録して、SDGs(Sustainable Development Goals)に取り組んでいます。



3. 許可内容等

3-1 許可内容

- ・埼玉県産業廃棄物処分業許可 (優)
 - ・許可番号:01120012468
 - ・許可:令和3年6月29日
 - ・有効:令和7年12月9日
 - ・中間処理方法:破砕
 - ・処理の能力:木くず120t/日
- ・埼玉県廃棄物再生事業者
 - ・登録番号:Ⅶー9
 - ・登録:平成12年8月25日
- ・広域認定制度(吉野石膏㈱第62号)
 - ・ストックポイント

3-2 施設の状況

- ・木くずの破砕 1ライン
- ・処理車両 フォークリフト2台、8tアームロール1台、ユンボ2台
スーパー1台 合計6台

3-3 廃棄物処理料金

廃棄物処理料金を無料でお見積りしますので下記担当者にご連絡ください。
担当者:宮田

4. 環境関連法規の遵守状況等

4-1 環境関連法規等の遵守状況

主な適用法規名		遵守事項	遵法評価
廃棄物処理法、八潮市廃棄物処理と再利用条例	排出事業者	・許可業者と契約、・二者契約、・許可品目、・マニフェストの戻り管理、・マニフェスト報告書の提出	○
	中間処理業者	・許可品目の受入、・マニフェストの戻し、・処理施設管理者の選任、・帳簿に記載と保管、・積替保管の表示、・保管に伴う環境保全	○
家電リサイクル法		・リサイクル費用の支払い、・廃家電の引渡	○
浄化槽法		・機器の点検、・清掃と水質検査	○
騒音規制法、振動規制法 ・八潮市生活環境保全条例		・規制基準の遵守	○
フロン排出抑制法		・廃棄時にフロンの回収、・フロンマニフェストの交付 ・漏れ検査、・修理記録の保管	○
埼玉県生活環境保全条例		・アイドリングストップ	○

4-2 行政指導、訴訟の有無

過去において、環境関連事項の法令違反や関係当局より違反等はありません。

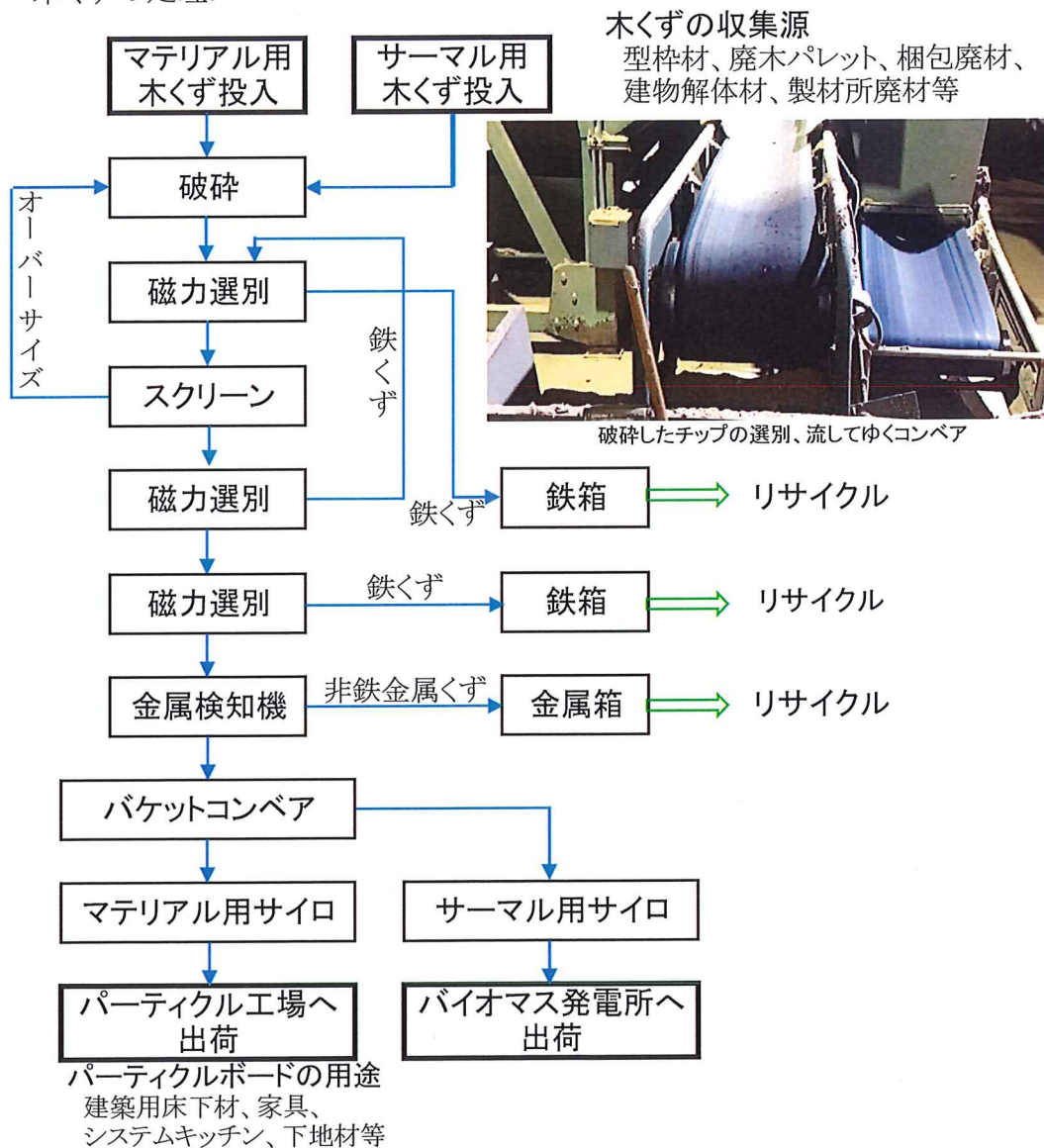
5. プラントの概要と処理フロー

5-1 プラントの概要

- ・木くずを受け入れて、破碎・選別などの中間処理処理してチップを資源化しています。
- ・金属検知器などにより異物を除去して、質の高いチップを作成しています。
- ・廃石膏ボードのリサイクルに貢献しています。
- ・エコアクション21認証・登録して環境に配慮した活動を行っています。

5-2 処理フロー

- ・木くずの処理フロー



- ・石膏ボードのストックポイント

吉野石膏㈱の広域認定制度のストックポイントとして廃石膏ボードの一時保管、異物除去等を行い、廃石膏ボードのリサイクルに貢献しています。

6. 環境経営方針

6-1 基本理念

「リサイクルで地球環境の未来を創る」という理念のもと、環境改善に貢献すべく、地域社会で行動します。当社は廃木材を資源と捉え、全量原料に使用した木材製品に再生利用しており、それによりCO2の排出を抑制し、環境負荷を低減させ、地球環境、持続可能な社会をつくるため、脱炭素社会の実現に向けて今後も主体的に取り組んでまいります。

エコアクション21環境経営システムを積極的に導入し、継続的に改善する事で環境企業として従業員一同、環境負荷の低減に努め、地球環境保全に貢献します。

6-2 行動指針

- ① マテリアルリサイクルを最優先させ、木くずの炭素固定に努めます
- ② 工場、重機稼働の使用燃料の低減
- ③ 工場、事務所等の水使用量、電力の低減
- ④ 工場、事務所等から排出する廃棄物の低減
- ⑤ グリーン調達推進
- ⑥ 環境に関する法令及び法規制の遵守に努めます

環境方針は公開します

2025年4月16日

東京ボード工業株式会社 埼玉営業所

所長 西尾 亮

7. 中期環境目標

承認年月日: 2025年4月16日
承認者: 西尾 亮

環境方針	環境目標	2022年度	増減率	2023年度	2024年度	2025年度
		基準年 * 1	単位	年度目標		
マテリアルリサイクルの推進	マテリアルリサイクル量	—	増減率	-48%	0%	4%
		15,435	t	8,080	15,435	16,000
	マテリアルリサイクルによるCO ₂ 排出削減量 * 2	28,246	t-CO ₂	14,786	28,246	29,280
	廃材搬入量	33,788	t	30,000	33,788	35,140
燃料使用量の削減	軽油使用量	—	増減率	-11%	13%	3.4%
		28,391	L	25,200	28,382	29,342
	原単位*4	0.840	L/t	0.840	0.840	0.835
	LPG使用量	—	増減率	-11%	13%	4%
		10,835	kg	9,630	10,846	11,280
	原単位*4	0.321	kg/t	0.321	0.321	0.321
電力使用量の削減	電力使用量の削減	—	増減率	-11%	-12.4%	-4%
		373,671	kWh	331,800	373,020	387,243
	原単位*4	11.06	kWh/t	11.06	11.04	11.02
CO ₂ 総排出量の削減*3	CO ₂ 総排出量の削減*3	—	増減率	11%	13%	4%
		282,874	kg-CO ₂	251,179	282,575	293,096
水使用量の削減	総排水量	—	増減率	0%	0%	-1%
		2,748	m ³	2,748	2,748	2,720
廃棄物の削減	一般廃棄物排出量	—	増減率	-1.6%	-1%	-1%
		695	kg	684	677	670
	産業廃棄物排出量	—	増減率	1%	-1%	-1%
		10,892	kg	10,800	10,692	10,585

*1: 2023年度の目標値は2022年度の数字からの予測値を採用。

*2: マテリアルリサイクルによる木材燃焼量削減に伴う、CO₂排出削減量を示す。

*3: 電力のCO₂排出係数: 2024年度発表東京電力エナジーパートナー(株)調整後排出係数0.431kg-CO₂。

*4: 廃材搬入量によって影響される項目については搬入廃材1t当たりの原単位指標を参考として表示する。

*5: 化学物質の使用が無いため、化学物質に関する目標の設定はありません。

安全講習

グリーンカーテン

事務所内も緑化



8. 2024年度目標・計画取組実績

承認年月日: 2025/04/16

承認者: 西尾 亮

目標項目	目標値と実績値、評価			活動計画		
		前半	年度累計	活動内容	担当者	評価
マテリアル リサイクル量 (t)	目標	7,700	15,435	①カスード利用によるマテリアルリサイクル推進	全従業員	△
	実績	3,796	9,801	②分別の徹底	現場作業員	×
	評価	49.3% ×	63.5% ×	③異物混入の対応徹底	RC営業	○
廃材搬入量 (t)	目標	16,000	33,788	①積極的な営業活動	営業	△
	実績	14,441	29,653	②毎月のキャンペーンの実施	事務	○
軽油 使用量 (L)	目標	14,000	28,382	①毎月の使用量記録と見直し	現場長	○
	実績	14,328	27,191	②ユンボのエアークリーナーの週一清掃	〃	△
	評価	97.7% △	104.4% ○	③アイドリング防止の徹底	ユンボOP	○
軽油 原単位 (L/t)	目標	0.875	0.840			
	実績	0.992	0.917			
	評価	88.2% ×	91.6% △			
LPG使用量 (kg)	目標	5,400	10,846	①毎月の使用量記録と見直し	現場長	○
	実績	5,134	11,050	②フォークリフトのエアークリーナー週一清掃	フォークマン	△
	評価	105.2% ○	98.2% △	③アイドリング防止の徹底	フォークマン	△
LPG原単位 (kg/t)	目標	0.338	0.321			
	実績	0.356	0.373			
	評価	94.9% △	86.1% ×			
電力使用量 (kWh)	目標	186,000	373,020	①毎月の使用量記録と見直し	現場長	○
	実績	163,066	332,913	②破碎機の稼働効率を上げる	〃	○
	評価	114.1% ○	112.0% ○	③ダストの定期的な清掃	現場作業員	○
電力原単位 (kWh/t)	目標	11.6	11.0	④クールビズ・ウォームビズの継続	所長	○
	実績	11.3	11.2	⑤消灯、不要電気OFF	〃	○
	評価	103.0% ○	98.3% △	⑥リターンチップを減少させる	現場長	○
CO ₂ 総排出量 (kg-CO ₂)	目標	132,486	266,535	軽油、LPG、電力の活動内容と同じ	設備部門	○
	実績	123,932	249,260			
	評価	106.9% ○	106.9% ○			
水使用量 (m ³)	目標	1,300	2,748	①止水・漏水の確認	全従業員	○
	実績	1,273	2,175	②乙姫の有効活用	事務	○
	評価	102.1% ○	126.3% ○			
水原単位 (m ³ /t)	実績	0.088	0.073			
	評価	92.2% ○	110.9% ○			
一般廃棄物 排出量 (kg)	目標	340	677	①段ボールゴミの低減	廃棄物部門	○
	実績	347	653	②紙の分別	〃	○
	評価	97.9% △	103.7% ○	③裏紙使用、データ管理	〃	○
産業廃棄物 排出量 (kg)	目標	5,300	10,692	①異物の返却徹底	RC営業	○
	実績	3,228	5,460	②廃棄金属の分別を徹底し売却する	現場作業員	○
	評価	164.2% ○	195.8% ○			
全体コメント 環責が年度終了後に記載する	全体的な実績は良かったものの、サーマルリサイクルのチップヤードが許可容量を越えそうになった為、搬入を制限せざるを得なかった。 当社の基本理念を念頭に、次年度はマテリアルリサイクル量の大幅増を必ず達成させる。					

目標値の評価方法: 数値が減ると良い方向になる目標(例えば、燃料、廃棄物)は目標÷実績で評価値を表す。

数値が減ると悪い方向になる目標(マテリアルリサイクル量)は実績÷目標で評価値を表す。

評価値100%以上: ○、90%~100%未満: △、90%未満: ×。

活動計画の評価方法: 活動内容を実行した: ○、実行したが不十分: △、活動をしなかった: ×。

* 廃材搬入量によって影響される項目については搬入廃材1t当たりの原単位指標を参考として表示する。

9. EA21の取組

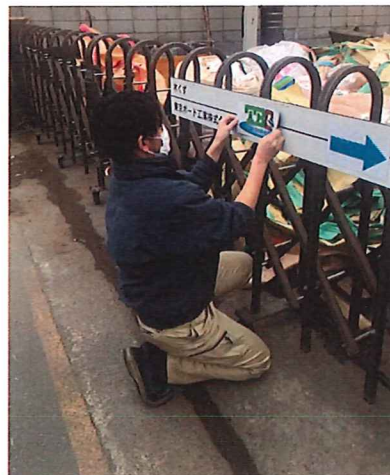
ATM:明るく、楽しく、前向きに！！



お客様に喜ぶ笑顔が見たいから始まった毎月のイベント
企画する従業員も楽しんで♪



初めてのお客様も迷わないよう
看板も設置 ➡



EA21の取組を全員参加型にした
前所長
グリーンカーテンのお手入れ後
ゴーヤをゲット★

食べる事大好きな
新所長、新工場長
皆で頑張っていきましょう！！



新所長



待望の工場長

10. 所長による改善指示記録

「年度目標・計画取組実績」、「外部コミュニケーション受付・回答書」、「環境関連法規等取りまとめ表兼遵守点検表」を基に、所長と環境管理責任者、工場長が話し合い、1年間の活動を振り返った。EA21システムが有効に機能しているか、効果を挙げているか確認評価した。その結果、改善策を見出し是正するよう指示。

問題点と改善点	①1年を通してイレギュラーな製品の生産に伴いマテリアルリサイクル実績が低かった。 ②フォークリフトLPG使用量の未達。		
	見直し項目	見直し 要否	コメント(現象、理由等)
EA21システムの見直しの要否	環境方針	否	前回審査を受け改定。
	環境目標・活動計画	否	2023年度に見直した中長期目標を継続。
	実施体制	否	現体制で問題なし。
	課題とチャンス	否	市況等に変化しない為、見直しを要さない。
	システム全般	否	新入社員含め全員が参加しやすいシステムへ。
具体的な指示事項	①分別ヤードを確保し、木くずB材の中から原料化を増やす。 ②入社時の安全教育、重機作業の指導を徹底する。		小池
			工場長
			所長

11. 次年度の取組

環境方針	環境目標	2022年度 基準年 * 1	増減率 単位	2025年度 目標
マテリアルリサイクルの推進	マテリアルリサイクル量	—	増減率	0%減
		15,435	t	16,000
	マテリアルリサイクルによるCO ₂ 排出削減量 * 2	28,246	t-CO ₂	29,280
	廃材搬入量	33,788	t	35,140
燃料使用量の削減	軽油使用量	—	増減率	3.4%
		28,391	L	29,342
	原単位*4	0.840	L/t	0.835
	LPG使用量	—	増減率	4%
		10,835	kg	11,280
電力使用量の削減	原単位*4	0.321	kg/t	0.321
		—	増減率	-4%
CO ₂ 総排出量の削減*3		373,671	kWh	387,243
	原単位*4	11.06	kWh/t	11.02
水使用量の削減	総排水量	—	増減率	4%
		2,748	m ³	2,720
	原単位*4	0.0813	m ³ /t	0.0774
廃棄物の削減	産業廃棄物排出量	—	増減率	-1%
		10,892	kg	10,585

活動計画はこのレポート6Pに記載されている「活動内容」を基本として実施します。